



ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 広報誌
第 15号

2017年 6月 5日
組織拡充委員会

地区年次総会開催

4月27日（木）、平成29年度あすなろ地区総会が中野区産業振興センターで開催されました。高橋協議会長、佐藤地区委員長の挨拶のあと、あすなろ地区表彰があり、以下の方々が受章されました。引き続き議事に入り、平成28年度の行事報告、会計報告、29年度の行事予定、会計予算は原案通り承認されました。29年度の地区役員の任命は、28年度の地区役員が引き続き留任の中で、地区副委員長として椎木誠一さん（杉並13団副団委員長）が新任となり、28年度地区副委員長であった村山正己さん（杉並4団ローバー隊長）は団担当コミッショナーに新任となりました。各委員会では、28年度の各委員会の委員長が留任の中で、信仰奨励委員長として津村道夫さん（杉並9団ボーイ隊副長）が新任となり、国際委員長に本間幹人さん（杉並3団ローバー隊長）が再任となりました。

地区表彰状

杉並3団：高地 実咲 杉並12団：西園 千陽、河井 宏彰、広田 正康、藤原 光厳、久保 森梧
杉並13団：澁谷 武弘、一條 稜真

地区有功記念章

杉並4団：常世田 琢、吉原 淳 杉並6団：井上 創、赤松 五子、井口 房枝
杉並11団：兼俊 亮 杉並12団：佐藤 薫



【地区役員】

地区協議会長：高橋 宏人（中7）
地区協議会副会長：岡村 實（杉6）、竹之内 實（杉8）
地区委員長：佐藤 武信（杉11）
地区副委員長：中村 俊幸（中8）、月出 毅（中11）、並木 明直（杉3）、並木 俊久（杉4）、椎木 誠一（杉13、新任）
会 計：本間 幹人（杉3）、副会計：山中 喜美子（杉8）
事務長：並木 俊久（杉4）、副事務長：久保田 温（中3）

【運営委員会】

組織拡充委員長：広瀬 治男（杉12）、トレーニング委員長：椎木 誠一（杉13、再任）
進歩委員長：金田一 良（中11）、野営行事委員長：島田 雅彦（中5）、安全管理委員長：武藤 八朗（中3）
信仰奨励委員長：津村 道夫（杉9、新任）、国際委員長：本間 幹人（杉3、再任）

東京連盟年次総会で表彰 県連特別有功章、優良団

5月20日（土）東京連盟年次総会がオリンピック記念青少年総合センターで開催されました。総会では、杉並8団の高木誠副団委員長が県連特別有功章を受章しました。また、平成28年度と29年度の継続登録時を比較して、スカウト登録者数が5人以上増加した優良団は東京連盟で24団あり、あすなろ地区では、杉並5団（5人）と中野8団（9人）が紹介されました。



地区の国際交流活動について

国際委員長 本間 幹人（杉並3団）

あすなる地区では、2015年の第23回世界スカウトジャンボリーを目指して、国際委員会が設置され、その活動はジャンボリー準備委員会に引き継がれました。

ジャンボリー後のホームステイを含め、多くの方々のご協力によりまして、また日本にきたい、自分の国に来て欲しいなど、更なる国際交流活動が展開する中で、このたび国際委員会が再設置されることとなりました。

他の地域に比べ、あすなる地区においては、海外での生活経験のある指導者、スカウトも多く、国際交流活動には恵まれた環境にあるなかで、イギリス、スウェーデンの世界ジャンボリー、シカゴやロサンゼルスの世界ベンチャー派遣、アイルランド、バングラデシュ、アイスランドへの連盟派遣団に参加実績があり、今年は、モンゴルで開催されるアジア太平洋ジャンボリー派遣団にも、3名の参加予定があります。

また、ボーイスカウトアメリカ極東連盟日本地区と東京連盟が、多摩市稲城で共同開催している、日米秋季パトロール・オー・リーにおいても、優勝班（パトロール）が出るなどの活躍とともに、運営スタッフとしても、語学力に長けた指導者の方々にご奉仕をいただいております。

このたび、この日米秋季事業のアメリカ側の責任者であった方が、転勤でハワイに帰国されるにあたり、引き続き交流を深めて行きたい、ハワイとも交流して欲しいと、メッセージをいただきました。

このため、かつて多摩のアメリカ連盟のロッジで鶏の丸焼きを教えてもらったスカウトたちが中心となり、スカウト自身で、ハワイのアロハ連盟国際委員長と企画、交渉し、訪問計画をすすめており、アロハ連盟設立に貢献した日系人スカウト隊、ホノルル本願寺の団との交流を推進し、相互理解を深める運動が展開され始めています。

国際委員会では、スカウトの熱意、希望をかなえるために、運営の立場から後押しをする役割で、これからの国際交流を通じた社会への奉仕の輪を広げていく運動を担ってまいります。

海外経験をお持ちの方々や、ホームステイなど一般家庭での国際交流にご理解をいただいているの方々など、みなさまのご理解においても恵まれた環境にあるなかで、次世代への国際交流の輪が広がっていくことを念願しております。



信仰奨励委員長就任にあたって

信仰奨励委員長 津村 道夫（杉並9団）

今年度から、あすなる地区内の専門委員会として信仰奨励委員会が新設され、委員長として、なぜ今、地区に信仰奨励委員会が必要なのかを考えてみました。

- ① B S部門、V S部門の新進級制度では、各進級章に「信仰奨励」の項目が設けられ、例えば初級章では「隊集会やキャンピング、ハイキングでスカウトズタウン・サービスに参加する」となっており、各隊でのスカウトズタウン・サービスの実施が前提になっています。

宗教団であれば、各宗教・宗派に合わせたサービスが行われているかもしれませんが、地域団では実施方法が分からず、日頃から各隊が実施しているかは疑問があります。

このため、信仰奨励委員会としては、各団にスカウトズタウン・サービスの重要性をお伝えし、各隊で実施できるようにサポートすることが求められていると思います。

- ② 富士スカウト章のための宗教章や、菊スカウト章取得のために、宗教指導者との関わりが必要になりますが、地域団にとっては、宗教指導者との関わりはハードルが高いように思います。

新進級制度では菊スカウト章取得のために「信仰奨励章」の取得が必要で、「自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く」という項目があります。

今までなら宗教指導者とのかわり、富士スカウト章を取るための宗教章の時だけでよかったので、スカウトに個別対応していたと思いますが、菊スカウト章、隼スカウト章の取得ともなると、団によっては毎年複数名に指導しなければならず、自団で行うのは大変なことだと思います。

このため、信仰奨励委員会が信仰奨励章及び宗教章に必要な宗教指導者との関わりを導く繋ぎ役になることが求められていると思います。

信仰奨励委員会では、こうした要求に応えられる運営をしたいと思っていますので、よろしく願いいたします。



隼スカウト章を受章

杉並11団

4月27日（木）に開催された地区年次総会の開会前に隼スカウト章の伝達式があり、杉並11団ベンチャー隊の山本虎太郎さん、吉岡優奈さん、牛山明音さんの3名が受章しました。

ベンチャープロジェクトは、3人共同で「森と野原のワクワクランド」の奉仕活動とし、昨年11月に下井草教会で開催された地域の子ども向けのアウトドア体験で、その楽しさを知ってもらうことにしました。このため、木の間に張られたロープを滑車を使って滑り降りる設計図を作成するなど、3種の出し物を企画しました。

実際には、予定数以上の子どもが集まらず、出し物すべては実施できなかったものの、多くの方にアウトドア体験を楽しんでもらうことができたとのことでした。



隼スカウト章を受章

杉並13団

5月25日（木）あんさんぶる荻窪で開催された地区委員会の開会前に隼スカウト章の伝達式があり、杉並13団ベンチャー隊の室賀来知さんが佐藤地区委員長より隼スカウト章を伝達されました。



28年度の技能章



28年度中に取得されたあすなる地区各団の技能章取得は表の通りです。

	杉並3	杉並4	杉並5	杉並9	杉並11	杉並12	中野3	中野8	中野11	計
救急章	1			3	3	2	3	2		14
炊事章	1		1	3	3		3	1	1	13
野営章	1		1	3	3			1	1	10
環境衛生章		3								3
森林愛護章					2					2
野営管理章									1	1
自転車章						1				1
計	3	3	2	9	11	3	6	4	3	44

ボーイスカウト講習会開催

4月23日（日）、第247回ボーイスカウト講習会が中野区弥生町の南部すこやか福祉センターで開催されました。主任講師はあすなる地区の椎木誠一副リーダートレーナーで、各団から14名の方が受講されました。

ハイキングでは、トレーニングチームの要員が班長役をつとめ、班単位に行動して、近くの神社、公園を巡り、各ポイントでは班員が協力して歩測やキムスゲーム等の課題に挑戦しました。お昼はホットドッグをおいしくいただきました。

参加者からは「子供の気持ちになって、ビーバーやカブ部門など、年代に合わせた活動や集会を具体的に体験することによって、子供の気持ちが理解できた」などの感想がありました。



参加者記念撮影



班に分かれて受講



ハイキングの説明



ロープワークの練習



ハイキングに出発



ポイントでの説明



歩測の実習



歩きながらキムスゲーム



協力しロープで宝物を取出し



輪を作って集会体験



優勝めざしてゲーム



優秀班に弥栄！

中野区民ふれあい運動会で奉仕

中野の各団

5月21日（日）、中野の各団は中野区立第二中学校（中野区本町5）のグラウンドで開催された、中野区民ふれあい運動会で、競技の運営、車椅子の方や障害者の方々の支援、場内の警備などの奉仕を行ないました。

中野区民ふれあい運動会は、今回で36回目となる中野区の恒例行事で、障害のある人も、ない人も参加でき、当日の参加ができる種目もあります。

選手宣誓、準備運動などの開会式に続いて、スプーン競争、紅白玉入れ、パン食い競争、宝さがし、障害物競争、鈴割りなどが行なわれ、電動と手動の車椅子競争では速さでなく、どれだけ設定タイムに近づけてゴールできるかを競いました。

スカウトは競技のたびにゴールでテープを持ったり、障害者、車椅子の方々の案内、着順により列に案内する活動などを行ないました。

また、誰でも参加できるフォークダンスの時には、参加スカウトはフォークダンスの大きな輪に入って踊るなど、会場の皆さんと一緒に楽しんでいました。



バザーを開催 杉並6団

5月14日（日）、桃井第三小学校で杉並6団バザーが開催されました。体育館ではフリーマーケットのお店が広がり、品定めをする方で賑わっていました。

校庭ではモンキーブリッジのほか、ボールをけて猛獣を倒すポケモンキック、ヨーヨーつり、魚つり、風船にあてるアーチェリーなどのゲームコーナーで子どもたちが挑戦し、飾り紐を作る体験コーナーも設けられました。

また、食品コーナーのテントでは、手作りカレー、いか炭火焼き、焼きそば、ポテトフライ、揚げパン、わたがし、かき氷、飲み物などが並びました。ビーバーコーナーではキャンディのつかみどり、古本などが並び、スカウトが立ちかまどで煮込んだとん汁が人気でした。

スカウト活動の展示コーナーも設けられ、テント内の入団説明会に保護者の方々が集まりました。

カレーの売上、フリーマーケットの参加費は、全額東日本大震災義援金として被災者支援に役立てられました。



会場の入口



フリーマーケット



入団説明会



モンキーブリッジ



ポケモンキック



ヨーヨーつり



アーチェリー



飾り紐づくり



ビーバーコーナー



焼きそば



パン、ケーキ



立ちかまどでとん汁

11団まつりを開催

中野11団

5月21日（日）中野11団は、方南通りに面した栄町公園（中野区弥生町4-20）で「ボーイスカウトのみんなと楽しく遊ぼうあそぼう」をテーマに、「11団まつり」を開催しました。

公園内の立木にスカウトがロープを張って作ったモンキーブリッジには、順番待ちの子どもたちの列ができました。

液体の入ったペットボトルにロープを結び、離れた11本のペットボトルを倒す「ボーリングゲーム」や、箱に入ったカードに書かれた重さのものを公園内で探す「重さ当てゲーム」、「ベーゴマ大会」、ベニヤ1枚分の「巨大パチンコ」などのゲームを行いました。

また「工作のコーナー」では、牛乳パックに切り込みを入れてサイコロ状にし、テープで閉じて吹き口をつけたホイッスルを作ることができ、子どもたちが吹き口の角度を調整しながら、息を吹き込んで鳴らしていました。

公園内にはフリーマーケットも開店してにぎわいを見せ、パネルには各隊の活動の様子や、夏季キャンプでの水遊び、ハイキング、バーベキューなどの活動を写真や説明文とともに伝えたり、保護者から見たボーイスカウト活動のコメントなども展示されていました。



荻窪すずらんハーモニーまつり 杉並8団

6月3日（土）～4日（日）、あんさんぶる荻窪(荻窪5丁目)で開催された「荻窪すずらんハーモニーまつり」に杉並8団が参加しました。

お祭りはあんさんぶる荻窪と地元商店街が地域内の団体と協力して開催され、今年で12回目になります。和太鼓が力強く演奏された後に開場となり、早稲田大学チンドン研究会の皆さんのにぎやかな演奏もありました。



杉並8団は「おまつり屋台村」で、やきそば、フランクフルト、かき氷、ヨーヨーつりのお店を開き、ボーイスカウト活動を紹介するパンフレット、入団案内のチラシも配布しました。気温も高かったので、かき氷が人気で、ヨーヨーつりにも子どもたちが集まり、裏方のヨーヨー作りも大忙しでした。

屋台村で使った食器は「ディッシュ・リユース」として、食器を使った人が自らから洗って返却し、煮沸・乾燥・消毒して再利用することで、ごみを減量する取り組みが行われていました。

なお、あんさんぶる荻窪は、天沼3丁目の荻窪税務署の跡地に建てられる複合施設に移転する計画があるため、あんさんぶる荻窪でのお祭りは今年が最後になります。



地区ローバーキャンプを開催 杉並9団 ローバー隊 望月 海



5月20日(土)～21日(日)、あすなる地区ローバーは八王子市のひよどり山キャンプ場で、ローバースカウト新人歓迎キャンプを行いました。参加者は、今年からローバースカウトになった2名を含む10名で、「新しいメンバーを迎える、交流を深める、奉仕をする」の三つがキャンプの目的です。

生きた鶏をさばくプログラムは、キャンプ場から車で30分ほど離れたところにある浅野養鶏場さんから、鶏を一羽分けていただきました。ボーイスカウト活動を熱心に応援してくださり、「このような仲間によって活動が支えられているのだ!」と身をもって感じる事ができました。浅野養鶏場さん、お世話になりました!

薪割りの奉仕作業も、新しいメンバーや多くの人たちとの交流を深めながら、無事に終わることができました。

そして5時間ほどキャンプ生活を共にした鶏が卵とともに親子丼になって、夕食として並んでいる違和感は、日常の食卓で感じなくてはいけない…という当たり前なことに気がつくことができました。そんな鶏にも感謝です。

夜は立ちかまどを囲み、焼きマッシュマロをしながら、各団の取り組み、個人でのローバーリング、地区ローバーの夏の取り組みについて話し合い、「地区ローバーの象徴としてネッカチーフを作りたい!」など、具体的な話もできて連帯感が高まり、有意義なものとなりました。

杉並と中野の各団でそれぞれのスカウティングを行っている10名がひよどり山に集まり、共にキャンプをしている事の不思議さと心強さがこのキャンプの意味であり、ローバーリングの一つの形と考えることができました。

まだあすなる地区ローバーの活動を知らないローバーの方々や、これからローバーになるベンチャーの皆さんの参加をお待ちしています!

